



特集

市民と議会が繋がる場
未来の市政を
一緒に考えませんか

令和6年第2回定例会Pickup案件

・新型コロナワクチンの
接種補助が受けられます



CONTENTS

特集 市民と議会が繋がる場 未来の市政を一緒に考えませんか	 P 2
令和6年第2回定例会の結果	 P 4
一般質問（11人32項目）	 P 5
議会活動報告	 P 11
令和6年第3回定例会の予定	 P 12

空に描いた私の世界

佐藤 陽里

SATO Hiyori

名古屋芸術大学 芸術学部

2023年度 卒業制作

北名古屋市議会 あなたの声をお聞かせください

＼市民と議員の／

意見交換会

日時 **10/5 土** 午後1時30分～4時30分 (受付:午後1時から)

場所 名古屋芸術大学アーツスクエア (北名古屋市文化勤労会館) 1階 小ホール

申込 定員40名まで【先着順】 市内在勤・在学OK!
●ご参加には事前のお申込が必要です ●お申込は令和6年9月10日(火)まで

テーマ 公共施設を今後どうするか

※少人数のグループに分かれて行います※

お申込はコチラから

令和6年 9月10日(火) まで 先着順

北名古屋市議会は、「議会基本条例」に基づき、市民の皆さんのご意見を市政運営に反映させていくため「市民と議員の意見交換会」を開催します。北名古屋市議会にとって初めての試みとなります。お一人おひとりと市の未来を考える場になりたいと思いますので、ぜひご参加をお待ちしています。

※今回の意見交換会では、名古屋工業大学教授白松徹研究員の協力のもと、参加者のトーク内容を録音・記録して「何を議論しているか」を会場内で可視化する取組を行います。ご理解・ご協力をお願いいたします。なお、録音・記録データは当該研究以外には使用いたしません。

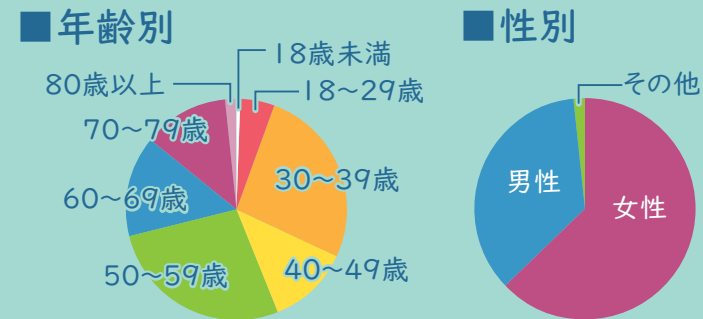
主催：北名古屋市議会 お問い合わせ：北名古屋市議会事務局(北名古屋市西之庄御前60番地) 電話 0568-22-1111

市民の皆さんが関心の高いテーマは？

公共施設	公共施設を今後どうするか	73
子育て・教育	子育てしやすいまちづくり	73
自治会	自治会の現状と今後のあり方	67
市全般	市の将来イメージ	64
交通	これからの交通手段	58
防災	災害時の備えと私たちができること	57
社会福祉	誰もが暮らしやすいまちづくり	55
議会	市民の方が望む議員の活動	30
環境	どうなる、どうするゴミ問題	26
市民交流	多世代や多様な方との交流	23
政治	市政への関心を高めるには	22

※複数回答有

アンケート結果



ご協力ありがとうございました。

アンケート結果は、「公共施設を今後どうするか」「子育てしやすいまちづくり」が同数でした。
この結果を受け議会で協議した結果、より幅広い年齢層からご意見をいただけるよう、「**公共施設を今後どうするか**」をテーマとすることにしました。
アンケート結果の詳細につきましては、市議会ホームページをご覧ください。



申込方法① スマートフォン・タブレット から

右記 二次元コードからお申し込みください。

申込フォームイメージ

●定員は40名です。(先着順)
●8月1日(木)午前9時より受付を開始します。

参加申込方法

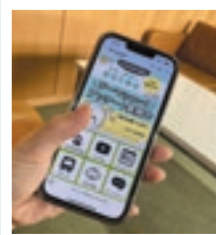
申込方法② 電話 から

①以外の方は、議会事務局までお問い合わせください。

TEL(0568)22-1111(代)



皆さんがリラックスして意見交換できるよう、少人数のグループに分かれて行います。



2024

アンケートを実施



2023

ファシリティ研修を全議員で受講



2023

先進地を視察



2022

北名古屋市議会基本条例を大幅に見直し

令和6年 第2回定例会 結果

会期 6/4～6/26 23日間

条例の改正	5件	補正予算	2件
指定管理者の指定	1件	契約の締結	1件
規約の変更	1件		

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第42号	令和6年度北名古屋市一般会計補正予算(第2号)について	全員賛成 原案可決
議案第43号	北名古屋市市税条例の一部改正について	
議案第44号	北名古屋市都市計画税条例の一部改正について	
議案第45号	指定管理者の指定について(北名古屋市市民活動センター)	
議案第46号	令和6年度北名古屋市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	
議案第47号	北名古屋市国民健康保険税条例の一部改正について	
議案第48号	愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	
議案第49号	北名古屋市障害(児)者扶助料支給条例の一部改正について	
議案第50号	北名古屋市下水道条例の一部改正について	
議案第51号	工事請負契約の締結について(北名古屋市防災行政無線(同報系)デジタル化整備工事)	

こんな質問が出ました

Q ワクチン価格と、国・市の負担額は

A ワクチンと手技料で15,340円のうち、国が8,300円、市が4,040円を負担。

Q 本市の自己負担額を3,000円と設定した根拠は

A インフルエンザ、肺炎球菌と比較して高価であり、他市の状況も鑑みて設定。

Q 自己負担額の近隣の状況は

A 名古屋市は3,200円、あま地区は3,800円、小牧、豊橋、岡崎市は2,000～2,500円、清須市、豊山町は本市同様3,000円。

Q 接種見込みは

A 対象者21,100人中40%を想定している。

令和6年度から新型コロナウイルス感染症が定期接種の対象疾病(B類)に位置付けられたことにより、希望する高齢者等に対し新型コロナワクチン接種が実施されます。

接種対象者

65歳以上

または、60歳以上65歳未満の方で心臓、腎臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する方及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方

接種時期

令和6年 秋冬

実施機関

北名古屋市・清須市・豊山町内の指定医療機関、個別契約医療機関、広域予防接種協力医療機関

自己負担額

3,000円



Pick up

議案第42号 令和6年度北名古屋市一般会計補正予算(第2号)について
新型コロナウイルスワクチンの接種補助が受けられます

可決

色の付いている議案をピックアップし具体的にどう変わるのかを掲載しております。全ての議案内容は、北名古屋市ホームページの「議案・請願とその審議結果」をご覧ください。



一般質問

一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

一般質問の内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会」から「議会録画中継」を選択してご覧ください。

生活安全

北名古屋市業務継続計画の見直し更新について

神田 薫(市政クラブ)

市民の生命、安全の確保を図り、大規模な災害が発生した場合にも、その責務を果たすべく、市業務継続計画が策定されてから6年が経過した。

南海トラフ地震防災対策推進地域指定市町村である本市は、太田市政となつてから組織も人員も変化しており、計画内容にずれが生じている箇所が見受けられる。

計画中にも、実効性を確認し高めていくには、継続的改善により業務継続能力を向上することが重要であるとい

う内容が述べられているが、今後の見直し更新についての所見は。

生活安全部次長

計画策定から6年経過する今、大規模な機構改革に伴う災害対策本部体制及び所掌事務の変更、社会構造環境の変化に伴う行政事務の増加による非常時の優先業務等について、修正を行う必要があると認識している。

今年度実施した機構改革後、梅雨時期を迎えるまでに非常配備体制整備の見直しを優先して取り組んできた。今後、能登半島の被災地で災害派遣に従事した職員の活動報告等を踏まえ、本年度開催予定の防災会議に向けて事務を進めるとともに、計画の継続的な改善を行う。

その他の質問

公園等の集約から再配置について



市制20周年に向けて、やらなければならないのは何か

桂川 将典（市政クラブ）

自治基本条例策定で実現されるべき課題は、地域に関わる全ての人が行政と対等に意思決定ができる環境を整えることと考える。課題の公表は、共創で解決する取組に欠かせない。

今やるべきは、課題解消の目標・期限を定め、財政改善までのスケジュールを明示し、喫緊の課題への実行・改善案を示し、議論することでは。

市長

義務的経費の増加により、財政健全化のめどが立たない中、これまでの行政を変え地域社会を再構築する必要がある。



ある。条例の検討は、公共私の役割分担と、まちづくりの理念を今一度考え直す機会とし、多様な主体による新しい北名古屋市を共に作っていきたいと考える。

徹底した行政の透明性の確保、説明責任の充実、インクルージョン（市民参加型）の視点で取り組んでいく。

その他の質問

令和8年度における基金残高の見直し
住民の地域活動への影響に対する行政の自己評価

行財政改革実行プランの財政改善までのスケジュール

行財政改革実行プランの全体目標と効果測定と評価

事業予算を削減するかしないかの判断の根拠は

公共施設適正化の組織的推進の課題認識

行政経営の軸が確立されていないのではないのか

今、進めるべき行財政改革について

熊澤 真澄（市政クラブ）

近年の物価の上昇により、市民生活に支障をきたしている。行政も扶助費等の義務的経費が上昇し、事業を縮小せざるを得ない状況であり、行財政改革は待ったなしである。

市民生活への影響を抑えるよう計画的に進めて欲しい。どのような方向性・目標をもって計画し進めるのか。

改革による市民の生活や活動への影響を、どう比較検討し、優先順位を付けるのか。

全課が方向性を理解し、一丸となって取り組むべきだが、職員にどう理解を得るか。

政策調整課長

時代や社会情勢に合っているか、類似団体に比べて過大ではないかという視点で、将来を見据えて事業を見直す。予算に合わせて事業を廃止していくものではなく、市民生活への影響を考慮しながら、総合的に調整・決定したい。



見直しにあたっては、事前に対象部署の幹部職員に方向性を説明・共有し、政策調整課が調整を進める。

どれだけ削減するかという予算額ありきではなく、行っている事業が適切かどうかを考え判断していきたい。

その他の質問

10年後を見据えて進める行財政改革について

毎年上昇する扶助費について

学校図書館の新聞配備について

まみや 文枝（公明党）

児童生徒が社会の諸問題について、多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力を身につけるために必要な措置として、文部科学省は令和4年度からの5か年計画で、公立小中学校全ての図書館に新聞を複数置くよう財政措置が講じられた。

経済的な理由から、新聞を取るのを止める家庭が増えていることもあり、本市も計画期間内に学校図書館への新聞配備を進めるべきと考える。

①本市の学校への新聞配備状況は。
②令和6年度の小中学校への新聞配備計画と予算は。

③新聞社からは児童のために新聞を寄附していただける意向を聞いている。教育委員会からも打診しては。

教育部次長

①3校の小学校で、地域住民や企業からの寄贈により配備している。
②計画はなく予算も計上していないの



が現状。課題を受け止め、新聞に触れるきっかけづくり、調べ学習を促進できるよう蔵書充実に取り組んでいきたい。

③今後、提供方法など新聞社と相談していく。

その他の質問

小中学校におけるがん教育の推進について

学校における健康診断の環境整備について

自治体のオフィス服装改革について

伊藤 大輔（立憲民主党）

に進めてほしい。

服装の自由化を実施する自治体が増えていく。目的は様々あるが、重要なのはTPOに応じた服装を職員自ら考え、自主性を育むことと考える。

- ①勤務時のルールはあるか。
- ②職員からノーネクタイ等の軽装勤務が提案されたことがあるか。
- ③オフィス服装改革の趣旨・目的についての見解は。
- ④ノーネクタイ（ビジネスカジュアルスタイル）通年化の考えは。
- ⑤トップダウンではなく、議論を大切

人事課長

- ①ルールはないが、常に品位ある服装を心掛けるよう、身だしなみチェックリストを掲示している。
- ②提案を受けたことはないが、職員自らTPOをわきまえて調整している。
- ③職員の自主性や多様な価値観を認め、働きやすい職場環境を創造し、市民サービスの向上に繋がるよう、オフィス服装改革は必要と考える。
- ④本年、夏季服装期間終了後に試行期間を設け、市民の理解が得られたと判断できる場合、ノーネクタイの通年化を導入したい。
- ⑤現在、職員に聞き取りを行っているが、様々な意見があり、これを参考にしながら職員へ周知していきたい。

その他の質問

今こそ常設型住民投票制度の創設を

過酷な保育現場の実態や度重なる不適切保育事案を背景に、保育士の配置基準が7年ぶりに見直された。

先の議会で、保育現場の深刻な声を紹介し質問したところ、市長から適正配置に努力するとの答弁があった。

- 基準では期限の定めがないが、子どもの命と安全を守り、発達を保障するためには、早期の体制確保が重要。
- ①本市の保育士配置の現状は。
 - ②改善への具体的な対応・時期は。
 - ③実施についての課題と対策は。

④退職者のうち定年以外の状況は。

保育士長

- ①基準を満たさなくなるクラスには、既に学年主任を配置し準備している。
- ②来年度に向け、利用者ニーズも考慮しながら定員数を調整したい。

- ③事務に集中できるノンコンタクトタイム導入等に加え、ICT導入により業務改善を進める。また、継続して働き続けたい職場作りに加え、大学の就職説明会で新卒者に本市の魅力をアピールしていく。

- ④昨年の退職者は10名程で、結婚、子育てと両立が困難との理由が多い。

その他の質問

- ためらわず相談・申請できる生活保護の取組について
- 高齢者も安心できる生活保護について
- こども誰でも通園制度について



れば地域崩壊をも招きかねない。地域づくりをどう考えているか。

市長

- ①約20年後には児童生徒数が約8割まで減少する可能性があり統廃合を含めた検討が必要。老朽化・機能低下に対応するため改修手法や時期を検討している。小中一一体型の提案は、施設整備や教員数確保などの課題はあるが選択肢の一つと捉えている。

- ②学校を中心に築いた地域コミュニティは継承しなければならない。地域で育まれ成長した子ども達が、自治会やボランティア・PTAなど地域の力として、再びまちづくりを担ってもらえるような地域を構築したい。

その他の質問

- 教員の働き方改革と教育の質の向上について
- 今後の小中学校のあり方について



異常な猛暑が続く中、こまめな水分補給は大切。子どもたちが持参する水筒だけでは、水分量が足りていないのではないかと。他自治体では、学校から水が支給されたり、給水サーバーや自動販売機を校内に設置されたりするなど、様々な対策が取られている。

- ①前年から改善した点は。
- ②学校の昇降口に熱中症対策用のミストを設置する計画はあるか。
- ③水分補給の有効な対策は。
- ④感染防止のため使用を中止した師勝東小学校のウォーターフーラーの現状は。
- ⑤水分補給のため、学校に自動販売機を設置検討してはどうか。

教育部次長

- ①中学校で夏季休業中の部活動や自習登校で自転車通学を試行する。
- ②一部、地域の協力で簡易的なミストを配備しているが、他からも要望がある。



- り、設置を検討していく。
- ③持参したお茶が不足した際に申し出しやすい声掛けに取り組んでいる。
- ④安全確保のためのメンテナンス対応業者が確保できず撤去した。
- ⑤先進自治体の管理・運用方法等の研究と併せ、自動販売機を取り扱う企業に相談していく。

その他の質問

- 使用済み紙おむつのリサイクル事業について

能登半島地震では陸路の寸断や断水・停電の長期化により、トイレが使えない状況が長引き、避難所などで衛生問題が深刻化した。災害時の劣悪なトイレ環境は、避難所生活のストレスを高めるだけでなく、トイレを我慢することによる健康被害も懸念されるが、仮設トイレが避難所に行き渡るまでには時間を要することも。

そのため、起こりうる災害を想定し、家庭や地域で簡易トイレを備蓄したり、実際に携帯トイレを使用する体験も大切と考える。

安心してトイレを使用できるよう本市の準備状況、自助・共助の取組への考えは。



等を備蓄している。

また、トイレカーや簡易トイレ等の提供を受けられるよう民間企業と協定を締結している。

市民に対する啓発としては、防災講和を通じて簡易トイレを備蓄するよう呼び掛けているが、今後は、各自防災会に対しても自主防災会補助金を活用した簡易トイレの備蓄についても積極的に啓発していく。

生活安全部次長

避難所となる小中学校の洋式化約62%、マンホールトイレ8か所、25基の設置のほか、仮設トイレ洋式49基、和式17基、非常用トイレ洋式便座30基

議会活動報告

防災講演会に参加しました

議員研修

研修の目的

南海トラフ巨大地震の発生が危惧される中、能登半島地震の災害派遣活動従事機関から被災地での活動の様子を伺い、防災意識の高揚と防災行動力の向上を図りました。



6月30日 名古屋芸術大学アーツスクエアにて

主な所感（抜粋）

- ◎甚大な被害の中で行政の力は限られているため、住民自らが備え、互いに助け合う自助・共助の重要性を改めて痛感しました。
- ◎罹災証明の発行に派遣された職員の体験談からは、元の暮らしに戻るのではなく、新しい生活に馴染むための覚悟が必要であることを学ぶとともに、元の暮らしに戻りたいと願う住民の思いや、それが叶わないことを伝えなくてはならない調査員の辛さも伺うことができました。
- ◎声が大きい方や近い方を優先するのではなく、静かな重症患者を見逃さないことが重要であり、これは、行財政改革や自治会活動においても、静かな声に耳を傾けていくことが災害に強いまちづくりに繋がると感じました。

～議員表彰～

全国市議会議長会定期総会及び東海市議会議長会定期総会において、地方自治の発展に尽力された功勞により、本市議会からは、2名の方が表彰を受けられました。



渡邊麻衣子議員
(在職10年)



梅村真史議員
(在職10年)

市議会モニター意見箱 ～第2回 定例会～



- ・議会だよりに掲載紹介欄があると良い
- ・議員との席が近く臨場感があった
- ・市民ファーストの質問が多かった
- ・傍聴へ貸し出す紙資料がもったいないと感じた

その他たくさんの貴重なご意見、ご提案をいただきました。今後の議会運営に役立てていきたいと思っています。

- ・来庁モニターだけでなく中継モニターも検討しては

皆様の声をお聞かせください

議会だよりをより充実させるため、皆様からのご意見・感想をお聞かせください。

議会事務局

- メール giji@city.kitanagoya.lg.jp
- FAX (0568) 23-3140



身寄りのない単身高齢世帯での入院や施設への入所の際の保証人がいないことが社会問題となっている。
身元保証や生活支援を行う身元保証等高齢者サポート事業を実施するNPO法人等の事業者が多く設立されたが、サービス内容が多岐にわたり料金体系も一様でなく高齢者では事業者の比較検討が難しいなどの課題がある。現在、解決に向けたガイドライン等の策定が進められている。

福祉こども部長

- ①本市の単身及び高齢者のみの世帯数は、
- ②国はガイドライン等の策定と地域の実情について、今後の方向性を出すには、さらなる調査が必要との認識だが、それに先駆けどのような取り組みをするのか。

①令和6年4月1日現在の単身世帯数は5,263世帯、高齢者のみの世帯数は4,100世帯である。
②事業者の信用性の不透明さ、比較検討の困難さ、契約金等の課題があり、対応に苦慮している。
今後、国のガイドライン策定により信用性と安心感を備えることができることから、身元保証や生活支援の需要の把握と事業者の情報収集に努め、利用者の意思を尊重する観点からも国の動向を踏まえ、今後の対応の在り方を研究していく。

福祉こども

単身高齢者の身元保証及び生活支援への取組について

川淵 康宏（日本共産党）

市民健康

妊婦の感染による先天性障害の予防

ひろた 幸治（無党派）

妊婦が注意すべき感染症の一つであるサイトメガロウイルス（ヘルペスウイルスの一種）の主な感染経路は尿や唾液などによる接触感染であり、ウイルスに感染した子のおむつ替えや食事の介助をきっかけに母体が感染することがある。特に2人目以降の子の妊娠では、感染の要因が生活上の身近にあることから、調理や食事前、おむつ替え後は石けんと流水で手を洗う、子どもと食器を共有しない、食べ残しをもたないからと食べないなど予防策や注意すべき点を知る事は大切。
まずは、妊婦がウイルスの抗体を持っているか確認し、持たない場合は、感染予防を徹底することも重要。健康な新生児の出生のために感染予防の啓発について、どう考えているか。

保健センター長

感染を防ぐためのワクチンはなく予防啓発は有意義だが、リスクのみが先

■その他の質問
■骨髄バンクに関する字びの機会の提供
■妊娠中の保育士の感染症予防のための業務上の配慮

行し、妊娠や出産に対して不安を抱きすぎないように留意することも重要。妊婦や家族、また妊娠希望者に対して周知の機会となるよう、パパママ教室等だけでなく、市ホームページでの情報提供を検討する。





令和6年 第3回定例会の予定

8月27日(火)	本会議（初日）
9月 6日(金)	本会議（一般質問）
9月 9日(月)	本会議（一般質問）※9/6にすべての日程が終了した場合は開催されません。
9月10日(火)	予算決算常任委員会
9月11日(水)	予算決算常任委員会
9月12日(木)	予算決算常任委員会
9月13日(金)	福祉教育常任委員会
9月17日(火)	建設常任委員会
9月18日(水)	総務常任委員会
9月19日(木)	鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会
9月25日(水)	本会議（最終日）

請願書・陳情書の提出について

令和6年第3回定例会の審査対象となる請願書・陳情書の提出期限は、
8月16日(金)の午後5時(予定)です。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

本会議・委員会の傍聴

〔受付時間〕 会議開始30分前から

〔受付場所〕 市役所東庁舎 4階
東エレベーター前

※委員会は先着10名で、
途中での入退室はできませんのでご了承ください。

ホームページをご覧ください

インターネットで議会の録画中継や議案の審議結果など様々な情報が見られます。市民のみなさまのアクセスをお待ちしております。

※通信料等はご利用者負担となります。



編集後記

今号のきたしるでは、6月定例議会の報告、10月5日に開催予定の市民の皆様との意見交換会について、また、5月に行った初のWEBアンケート調査の結果や意見交換会に向けて、市議会で行ったファシリテーション研修の様子などを特集しました。

アンケート調査では、幅広い年代の方から予想を越える回答を頂き、ありがとうございました。様々な視点からのご意見もあり、今後の議会活動に活かして参ります。また、併せて、意見交換会の参加者募集も始まります。

多くの皆様と、未来の北名古屋市について、お話出来る事を楽しみにしております。



表紙紹介

名古屋芸術大学 芸術学部 2023年度 卒業制作
佐藤 陽里 SATO Hiyori

空に描いた私の世界

私にとって、自由に描くってなんだろう。

「紙の上で、筆を走らせる」

これがどうしても上手くいかなくて、劣等感でいっぱいだった。だけど、糸とか針で何かを編んでいる時、私は自由だと思った。頭の中にある構想は、手が自然と動いて、糸が形になることで具現化されていく。

ああ、私にとって描くということは、絵を描くことではないのかもしれない。

下絵はいらない、手の動きに身を任せた時、素直に作りたいものが出来ているのだ。

キャンパスは紙の上を越えて、私は空に描く。

鉛筆や筆よりも、糸で描きたい。

これが、この4年間で見つけた本当の私です。